

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 10日は、低気圧が発達しながら日本海から北日本に進み、前線が西日本から東日本にのびる。
- 11日は、低気圧がさらに発達しながらオホーツク海に進み、前線が日本の東から日本の南にのびる。
- 12日から13日は、高気圧が北日本から日本の東に移動し、前線が大陸から西日本付近にのびる。
- 14日は、前線上に発生した低気圧が西日本付近に進む。

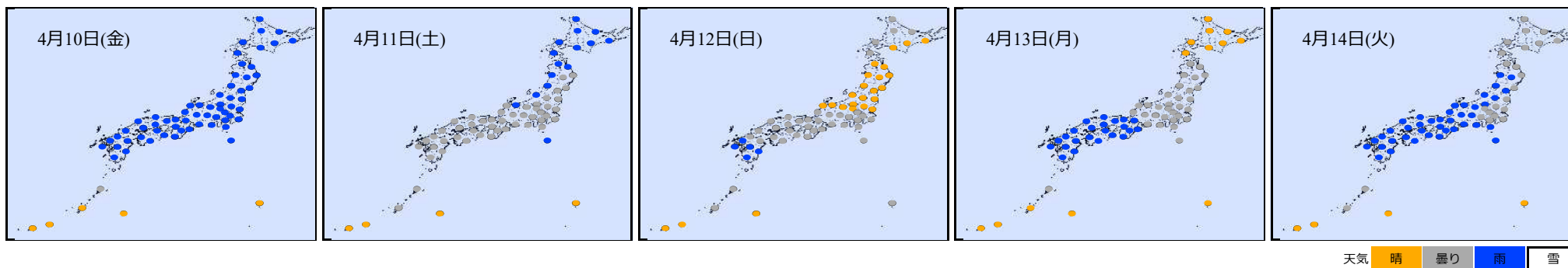
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 11日頃は、発達した低気圧の影響で北日本を中心に荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

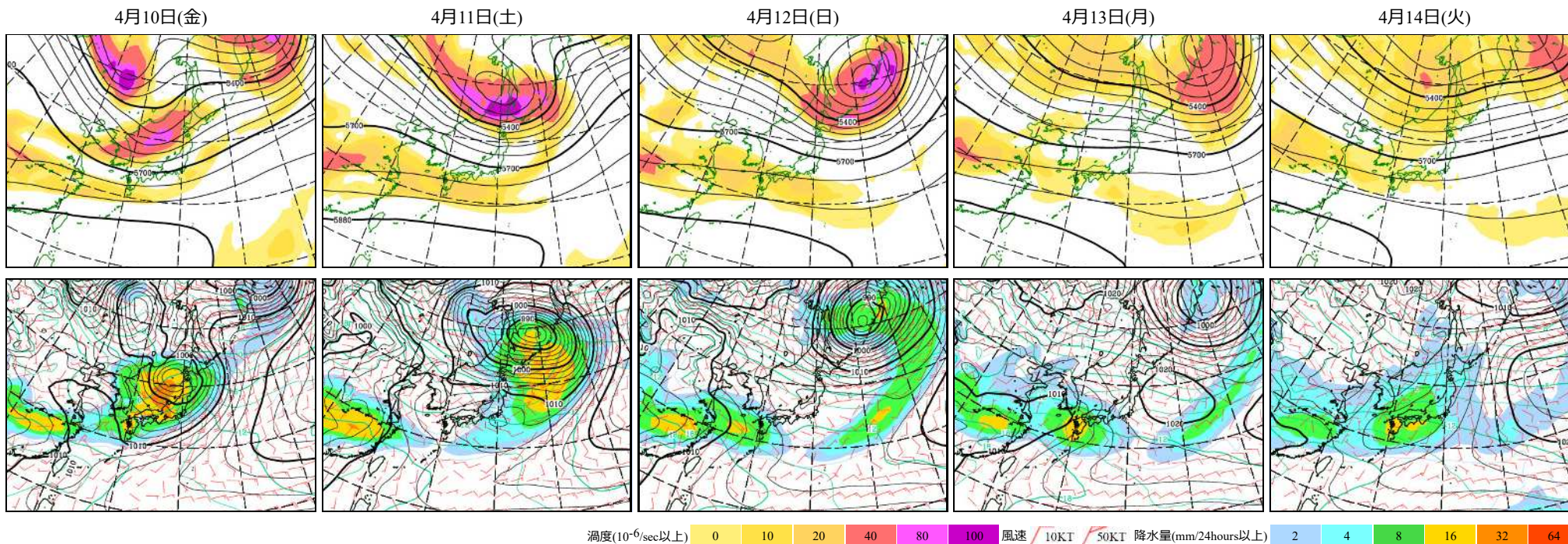
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

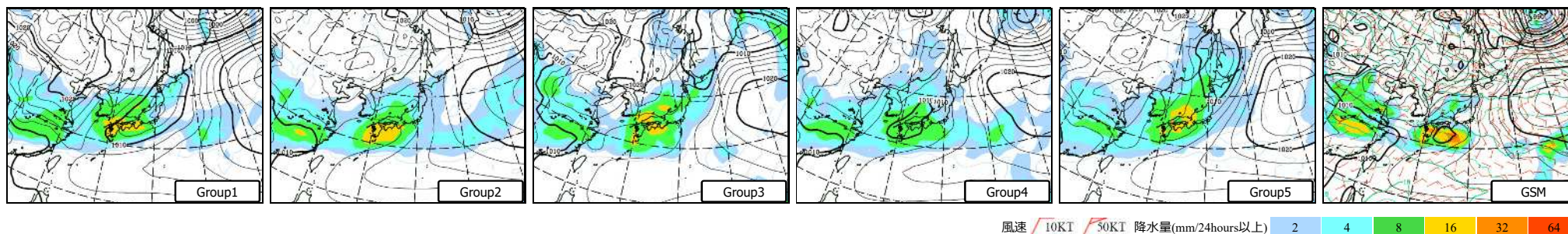


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多いが、12日から13日は晴れる所がある。
- 東日本は、曇りや雨の降る日が多いが、12日は晴れる所がある。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りまたは晴れる日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月14日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、10日は、日本海の低気圧が強くなった。11日は、サハリン付近の低気圧が強くなり、西日本付近で前線の位置が南下した。12日は、オホーツク海の低気圧が強くなった。
- 降水確率ガイダンスの値は、10日は北日本で大きくなった。11日は、北日本で大きくなり、西日本で小さくなった。13日は、西日本で大きくなった。
- スプレッドは期間を通して大きくはないが、期間後半は5400mの特定高度線にばらつきがでる。
- 13日から14日にかけて西日本付近に低気圧が進む予想は各モデルで揃っているが、低気圧の南北の位置にはモデル間の差がある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。